

2024年度 保育の取組み

『2歳児から5歳までの縦割り保育』

ちゃいれっく上高田保育園のはっぴいでい



ちゃいれっく上高田保育園

ちゃいれっく上高田保育園では2歳児クラスから5歳児クラスまで一緒に過ごす縦割り保育を積極的に取り入れています。これをちゃいれっく上高田保育園では「はっぴいでい」とよんでいます。主活動となる散歩、そして給食、午睡も一緒に過ごすことでお互いを思いやる心が育ってきています。



縦割り保育の良さは異年齢の子どもたちが互いに学び合うことです。年下の子たちは大きい子どもたちにお世話をしてもらうことで、自分たちも大きくなったらこんな風に優しくお世話をしたいという気持ちが芽生えてきています。また職員にとっても、急な家庭の事情でお休みしても担任以外の職員が子どもたちのことを理解しているので連携がスムーズです。子どもたちは互いに優しさを持ちながら成長をしていき、職員はチームで保育をしていく、それがちゃいれっく上高田保育園の「はっぴいでい」です。

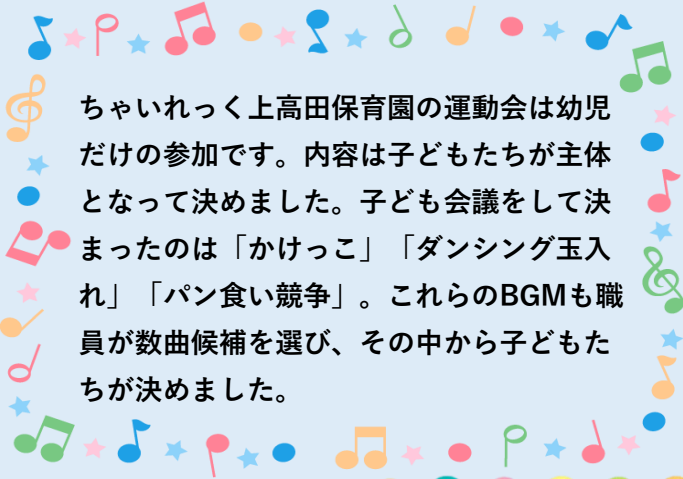


2024年度 「子どもたちと作り上げる運動会」

===子ども主体の運動会===



ちやいれっく上高田保育園



ちやいれっく上高田保育園の運動会は幼児だけの参加です。内容は子どもたちが主体となって決めました。子ども会議をして決まったのは「かけっこ」「ダンシング玉入れ」「パン食い競争」。これらのBGMも職員が数曲候補を選び、その中から子どもたちが決めました。



子どもたちがプログラムを決める際、職員は「〇〇ちゃんはどう思う？」と全員が話せるように配慮しました。そして練習のために日々の活動をやめるのではなく日々の活動も大事にしなら練習をしました。



大人主導の運動会ではなく、子ども主体の運動会とはどういうものか？答えがないからこそ何度も職員で話し合いました。手探り状態での練習や話し合いではありましたが、運動会を迎えるまでの過程で成長していく子どもたちは素晴らしかったです。自分たちでいろんなものを決めたということもあり、運動会当日の子どもたちはキラキラ輝いて宝石のような笑顔。ちやいれっく上高田保育園の保育は、運動会だけでなく日々の活動の中でもいろいろなことを子どもたちと職員が話し合っていて決めています。これからも子どもの気持ちを尊重し、それを職員がサポートしながら楽しい保育を進めていきたいと思っています！

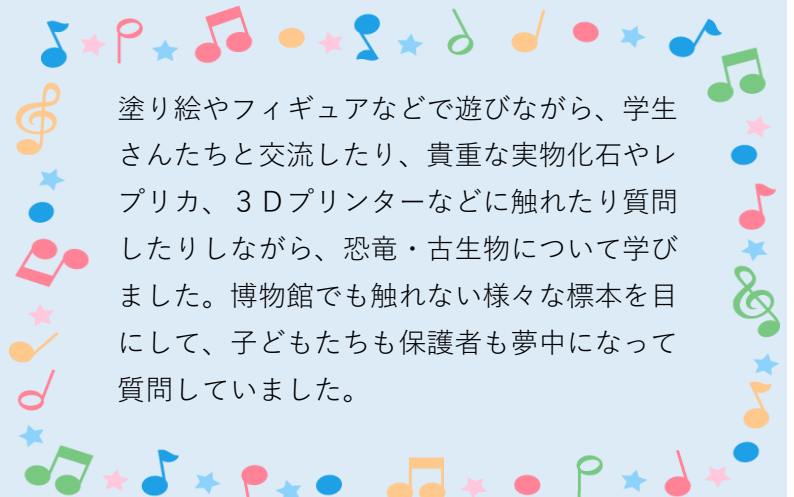
2024年8月31日

『第一回恐竜教室』を実施しました

TCA東京ECO動物海洋専門学校の博物館・恐竜自然史専攻の学生さんたちと共同で恐竜教室を開催しました。恐竜を題材に子どもたちの科学への興味関心のきっかけづくりをしました。



ちやいれっく上高田保育園



塗り絵やフィギュアなどで遊びながら、学生さんたちと交流したり、貴重な実物化石やレプリカ、3Dプリンターなどに触れたり質問したりしながら、恐竜・古生物について学びました。博物館でも触れない様々な標本を目にして、子どもたちも保護者も夢中になって質問していました。



今回は自園の園児と卒園児のみのイベントでしたが、今後は地域の子どもたちや保護者も参加できるようにし、「幼児教育×恐竜」をもっと活性化させたいと思います。



2024年度

『絵本「ひまわりさん」からひまわり栽培へ』

ちゃいれっく上高田保育園のばんだ組（3歳児クラス）は、子どもたちが大好きな絵本「ひまわりさん」をモデルにひまわりの栽培をはじめました。



ちゃいれっく上高田保育園



ちゃいれっく上高田保育園では、子どもたちが自由に絵本を手に取り見ることができるようにしています。



保育園では栽培スペースを用意し、毎朝、水やりをしながらひまわりがどう成長していくかを観察しています。

子どもたちが読む絵本コーナーの中にあつた「ひまわりさん」。この絵本から子どもたちにひまわりを育ててみたいという思いが生まれました。ちゃいれっく上高田保育園では、子どもたちの主体的な活動をととても大切にしています。子どもたちが考える「やってみよう」を実現するにはどうすれば良いのか、職員全員で話し合っています。

